



年頭にあたって

代表理事組合長 高橋 秀樹

令和2年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、御家族お揃いで、共に輝かしい新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業運営に対しまして特段の御理解と御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去年の営農を振り返ってみますと、春先は雪も少なく好天により、播種作業は順調に進みましたが、5月の干ばつ・強風により一部圃場にて被害が発生し、豆類の発芽等が心配されたところではございましたが、6月以降は好天にも恵まれ、収穫作業も順調に進みました。小麦においては、干ばつの影響が懸念されておりましたが、良品で平年並みの収量でありました。他の作物につきましても、平年または豊作の年と言えるものでありました。酪農・畜産部門においては、牧草をはじめとする良質な粗飼料が確保され、乳量は夏場に低下しましたが、乳質・乳量とも期待されており、肉用牛については価格も堅調に推移いたしました。令和元年度の農協事業におきましては、11月末現在の仮決算では計画を若干上回る数字となる状況となっております。これもひとえに組合員の皆様方の日頃の営農努力の賜物と深く敬意を表す次第であります。事業年度も残すところあと2ヶ月あまりとなりましたが、計画以上の決算になるよう更に鋭意努力して参りますので、組合員の皆様の引続きの御協力をお願い致します。

農業を取り巻く情勢は、昨年2月1日に日EU・EPAが発効、9月26日には日米貿易協定に係る最終合意が確認され、共同声明に署名されました。また、12月4日には国会審議を経て承認案が可決され、令和2年1月1日発効予定となりました。日米貿易協定の北海道への影響は、1,100億円の生産減少額のうち3~4割とみられており、生産者への不安が懸念されております。当農協としましても、今後も動向を注視していく必要があります。

昨年3月より着工しておりました、当農協本所新事務所の建築工事も無事に終了し、12月9日より供用開始となりました。これもひとえに組合員並びに各関係機関の絶大なるご支援、ご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

新事務所の完成を新たな契機として、「信頼・利用・満足されるJA」の経営理念を基に、役職員一丸となり、令和2年度の事業を進めて参る所存でありますので、引き続き組合員の

皆様のご協力をお願い致します。

今年も天候に恵まれ、災害も無く、豊穰の秋を迎える事が出来ます様、併せて組合員と御家族の皆様の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

札幌農業協同組合 代表監事

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和最初の正月を、ご家族お揃いでお迎えのことと思います。

平成最後の年、令和最初の年を振り返りますと、降雪が少なく凍結が心配されましたが、春耕期の農作業、播種作業とも順調に進みました。この少雨傾向は続き、一年を通して天候に恵まれました。

作物別に見ても、小麦に於いては春先の縞萎縮病や5月下旬の高温などの被害が心配されましたが、粗麦で単収10.8俵、全量1等と平成29年と同等の豊作となりました。馬鈴しょに於いても計画以上に集荷しております。また、豆類、てん菜、長芋、野菜ともに計画以上に集荷しており、豊作の一年となりました。ただ、食用馬鈴しょ、野菜に於いては価格の低迷が続いており心配されますが、有利販売に努めたいと思います。

畜産に於いては家畜消流が依然好調で計画以上に推移しています。生乳に於いては、生産者の高齢など離脱があり計画を下回っています。また、TPP、TAGなど経済連携協定の影響を受けることが予想されます。

農業情勢は農業者の高齢化や担い手不足など農業の構造変化の中、他国との経済連携協定など今後の動きに注目して行きたいと思います。特にTPP11、日米TAGにおいては北海道で500億円規模の影響があると試算されております。

昨年3月より着工しておりました新事務所が完成し、たくさんの組合員の皆様の出席のなか落成式がとりおこなわれました。新事務所に携わっていただいた方々に感謝を致したいと思います。

農協の運営では、一部の部門を除いては計画以上に推移しています。総合収支に於いても計画以上に進んでおり、今後も年度末に向けて役職員一同努力してまいります。

監事会としては監査業務を通して経営全般の強化に取り組んで行きたいと考えております。また、不祥事防止の観点から役職員との意思疎通を図り、コンプライアンスの徹底、内部統制の強化に取り組んで行きたいと考えています。組合員各位におかれましては引き続きご協力をよろしくお願い致します。

本年も災害がなく、豊穰の出来秋を迎えることができますよう心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



年頭にあたり

北海道農業協同組合 中央会会長

組合員並びに J A 役職員の皆様には、輝かしい令和 2 年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が 104 の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には 8 月末に発生した九州北部豪雨や、9 月、10 月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風 15 号、19 号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、J A グループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年 2 月 1 に日 E U ・ E P A が発効となり、日米貿易協定は昨年 10 月に署名がなされ、国会審議を経て 12 月 4 日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100 億円の生産減少額のうち 3～4 割が北海道への影響とみられており、J A グループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、J A グループ北海道は、昨年 11 月 12 日に第 29 回 J A 北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、J A グループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、J A 北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・J A ・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がきざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年のご挨拶

札内農業協同組合 青年部長

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部活動に対しましてご理解、ご支援、ご協力を頂いております組合員の皆様、農協役職員の皆様には改めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の干ばつの影響を受け、一部被害はあったものの、各農作物の生育は概ね順調に推移し、良好でありました。秋の収穫も順調に進み、ほぼ全ての農作物で豊作となりました。また、酪農畜産においても堅調に推移しました。

青年部の活動では、6月に農協施設周辺の環境整備を行いました。7月には恒例行事となっております農協役職員とのパークゴルフ大会が行われ、多くの方々にご参加頂き大変嬉しく思っております。

10月には、幕別町教育委員会と協力し実施している食育推進事業を札内南小学校、札内北小学校の児童を対象に行いました。内容は両校共にビートの収穫体験を行いました。ビートについての青空授業、農機具見学、ビートの収穫体験の3班に分かれ、青年部員が協力し合い、とても良い学びの場となりました。たくさんの質問を頂き、一生懸命に楽しんでくれている姿を見て、私も嬉しくなったとともに、食と農業に対して興味を持っていることにとっても感心しました。

今後も次世代を担う農業者となるべく、各種事業を通じて知識や技術の習得、盟友個々の意識の向上を図り地域農業の振興と魅力ある青年部活動を目指していきたいと考えております。

一方、昨年は9月26日に日米共同声明において、日米貿易協定が合意したことが発表され、国際競争がますます激化するなど農業において大きな変革期を迎えており、生産現場も依然として大きな不安を抱えております。

そんな中、私たち農業青年は今まで以上に、命を支える食と農業の大切さを多くの方々に伝え、力強い農業を作り上げていかなければならないと思います。

最後に、本年も変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げますとともに、部員各位、そして組合員の皆様の今年一年のご健康とご多幸を祈念し、年頭の挨拶と致します。



新年のご挨拶

札内農業協同組合 女性部長

女性部員、ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和元年度も、事業計画に基づき女性部員の方々のご協力を得ながら進めることができました。

最初の事業として6月に下部組織合同パークゴルフ大会を開催し、高橋組合長、中山理事にもご参加いただき、晴天の中パークゴルフを行い、その後の懇親会を焼肉ガーデンにて行うことができました。

7月には1日バス研修で千歳方面へ行きました。昼食は北広島市の「ホクレン食と農のふれあいファーム くるるの杜」に行き、安心安全かつ新鮮でおいしい食事を頂きました。その後に「サケのふるさと千歳水族館」と「サッポロビール工場」を見学しました。

8月には生涯学習として「整理収納講座」と題し、講師をお招きして百年記念ホールで行いました。必要なモノは、「この一年に使ったモノだけ」、「一年使わなかったモノを次の年に使う確率は5パーセント以下」、「とっておくべきか悩んで5秒過ぎたら不要なモノ」とのことであり、断捨離の極意を学ぶことが出来ました。

12月には部員9名の参加で3泊4日で岡山県・香川県方面へ道外視察研修に行ってきました。倉敷美観地区の散策、JA香川坂出ふれあい産直市、ファーマーズマーケット讃さん広場などを視察し、うずしお観光船に乗り、栗林公園の見学も行いました。

昨年は、5月より元号が「令和」となり、10月22日には「即位の礼」が挙行されました。12月には当農協の新事務所も完成となりました。私達女性部も気持ちを新たに活動に取り組んで参ります。今年も今まで以上に皆さんに興味を持ってもらえるような活動を考えていきたいと思えます。しかしながら、部員は減少してきています。今後、活動を続けていくには何をしたら良いか考える時期にきているのかと感じています。

最後になりましたが、今後とも女性部活動にご理解を頂き、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

本年度も組合員皆様のご健康で明るく過ごせる一年であることを願い、簡単ではございますが新年のご挨拶とさせていただきます。

札内農協本所新事務所完成！！

3月より着工した建設工事も11月末で終了し、12月6日、札内農協本所新事務所完成における、引渡し式及び修祓式、落成記念式典が新事務所2階会議室にて開催されました。

落成記念式典では、高橋組合長による式辞の後、飯田町長をはじめ来賓の方々より祝辞を頂きました。高橋組合長より施工業者である萩原建設工業株式会社へ感謝状の贈呈を行い、幕別町農業協同組合前川組合長の音頭で祝杯をあげました。その後、工事経過報告としてスライドショーを上映し、高橋光秀前代表理事組合長の万歳三唱で無事に終了致しました。

午後からは、新事務所内覧会を実施し、多くの組合員や関係者の方々が来所しました。

12月9日より供用開始となりました。



式辞を述べる高橋組合長



完成した新事務所



修祓式の様子

課名	電話番号	FAX番号
管理課	56-2131	56-5527
金融課	56-2132	56-5527
共済課	56-2133	56-5527
農産課	56-2134	56-5134
畜産課	56-2135	56-8996
監査室	56-2136	56-5527

本所新事務所の概要

【住 所】 〒089-0592
中川郡幕別町札内中央町 500 番地
※住所が 467 番地から 500 番地
に変わりました

【延床面積】 1,523,30 m²

【構 造】 鉄骨造 2階建て

【設備概要】

電 気 設 備：受変電設備、LED照明、LAN、
自動火災報知機、放送設備

衛 生 設 備：給・排水設備、給湯設備

空 調 設 備：冷暖房設備（エアコン）、
空調換気設備

そ の 他：ATM コーナー、電子掲示板

JA 十勝青年部大会

11月27日、日航ノースランドにてJA十勝青年部大会が開催されました。当農協からは7名の部員が参加し、『紡ぐ～想いをひとつに新しい時代へ～』という大会テーマのもと、他の単組との交流や意見交換を行いました。

各ブロックを代表とした5JA単組による十勝地区活動実績発表が行われました。当農協青年部は下り線ブロックの代表として、青年部員がテーマを「学習と仲間づくり」と題し発表しました。



発表をする青年部員

平成25年より幕別町教育委員会の主催で開催されている「幕別町立学校食育推進事業」を通じた『地域とのつながり』、JA役職員との交流を行う「夏期スポーツ大会」や「JA若手職員との交流会」を通じた『JA職員とのつながり』、十勝管内や管外への「視察研修」を通じた『部員間とのつながり』、「他農協青年部との交流会」や幕別町内の企業などが集まって交流を深める「わかクラブ」を通じた『さまざまなつながり』の計4つの「つながり」についての発表を行い、今後も新たな「つながり」を大事にし、さらに発展した青年部事業を開催していくことを誓いました。

また、「動画で発信！農の魅力」コンテスト、分科会が開催され、その後の懇親会では純農Boyオーディション、単組対抗アームレスリング大会が行われました。他の単組の方々と情報交換を行うなど、有意義な大会となりました。

女性部友の会 冬期研修

11月21～22日に1泊2日の日程で女性部友の会の冬期研修が札幌市にて開催されました。

今年の冬期研修は、北海道四季劇場にて「劇団四季リトルマーメイド」の観覧、札幌市内の散策を行いました。会員10名が参加しましたが、どうしても泊まることのできない会員もいるため、日帰り組、宿泊組の2班での研修となりました。



昼食では、JRタワーにてクリスマスモードでのビュッフェを堪能し、午後より「劇団四季リトルマーメイド」を観覧しました。

劇団四季の迫力ある演技に感銘し、「次回は家族と一緒に観に行きたいね。」と笑顔で話していました。

その後、日帰り組は帰路につき、宿泊組は懇親会を開催し、充実した研修となりました。